

平成 20 会 計 年 度

事 業 計 画

(変更版)

〔添付書類〕

1. 平成 20 会 計 年 度 予 定 貸 借 対 照 表
2. 平成 20 会 計 年 度 予 定 損 益 計 算 書
3. 平成 19 会 計 年 度 予 定 貸 借 対 照 表
4. 平成 19 会 計 年 度 予 定 損 益 計 算 書
5. 平成 19 会 計 年 度 業 務 報 告 書
6. 他 の 団 体 等 に 対 し て 出 資 を 行 う 場 合 に お け る 当 該 団 体 等 の 名 称 等 (該 当 な し)
7. 平成 20 会 計 年 度 収 入 支 出 予 算

放 送 大 学 学 園

平成20会計年度事業計画(変更後)

区 分	業 務 別 計 画				
1 放送大学を設置し、これを運営することに関する事項	(1) 学生の募集等 以下のとおり平成20年度第2学期及び平成21年度第1学期学生募集を行い、入学者の決定を行う。 (単位：人)				
	区 分	入学定員	募集期間等		
	教養学部	平成20年度第2学期 全科履修生	15,000	6月15日～8月31日	
		平成20年度第2学期 選科履修生, 科目履修生	40,000		
		平成21年度第1学期 全科履修生	15,000	12月15日～2月28日	
		平成21年度第1学期 選科履修生, 科目履修生	40,000		
		平成20年度 集中科目履修生	—	5月1日～5月31日	
	大学院 文化科学 研究科	平成21年度 修士全科生	500	8/23～9/12 募 集 期 間 10/7 第1次合格者の決定(書類審査) 10/26 第2次選考 (小論文) 11/15, 16 // (面接試験) 12/10 最終合格者決定	
		平成20年度第2学期 修士選科生, 修士科目生	11,000	6月15日～8月31日	
		平成21年度第1学期 修士選科生, 修士科目生	11,000	12月15日～2月28日	
(注) 募集期間等は予定である。					
なお、学費については下記のとおりとする。					
①教養学部					
学生の種類	入学料	授業料			
全科履修生	22,000円	1単位 当たり 5,500円			
選科履修生	8,000円				
科目履修生	6,000円				
集中科目履修生	4,000円				
②大学院文化科学研究科					
学生の種類	検定料	入学料	授業料	研究指導料	臨床心理実習費
修士全科生	30,000円	44,000円	1単位 当たり 11,000円	1年間 につき 88,000円	20,000円
修士選科生	—	16,000円		—	—
修士科目生	—	12,000円		—	—

区 分	業 務 別 計 画										
	<p>(2) 学生の教育等</p> <p>① 学生に対して放送授業，面接授業，通信指導，研究指導，単位認定試験等を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="399 324 1412 1926"> <tr> <td data-bbox="399 324 542 952">放送授業</td> <td data-bbox="542 324 1412 952"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年4月1日～4月28日 } 15週間 平成20年5月6日～7月21日 } ・平成20年10月1日～12月28日 } 15週間 平成21年1月5日～1月20日 } ・第1学期については，学部282科目，大学院68科目を放送 ・第2学期については，学部288科目，大学院69科目を放送 〔平成20年4月29日～5月5日及び平成20年12月29日～21年1月4日を「ゆとりの期間」として，また，平成20年7月22日～9月30日及び平成21年1月21日～3月31日を「集中放送授業期間」として，特別講義を放送するほか，授業番組の一部を再放送 ・なお，夏季集中放送授業期間，ゆとりの期間（年末・年始）には，「司書教諭資格取得に資する科目」（5科目），「看護師資格取得に資する科目」（5科目）も放送 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="399 952 542 1366">面接授業</td> <td data-bbox="542 952 1412 1366"> <ul style="list-style-type: none"> ・学習センター等で直接教員（客員・非常勤教員を含む。）が指導を実施（スクーリング） ・面接授業の種類 <ul style="list-style-type: none"> ①毎週型 週1回2時間15分の授業を毎週火～金の同曜日・同時限に5回（5週）実施 (5月～6月，11月～12月) ②土日型 連続する土曜・日曜に1回2時間15分の授業を5回実施 (4月～7月，10月～1月) ③集中型 連続する2～3日間に1回2時間15分の授業を5回実施 (8月，2月) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="399 1366 542 1512">通信指導</td> <td data-bbox="542 1366 1412 1512"> <p>通信指導提出期限</p> <p>(第1学期) 平成20年 6月6日</p> <p>(第2学期) 平成20年12月2日</p> <p>〔(集中科目履修生) 平成20年8月15日 〕</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="399 1512 542 1590">研究指導 (大学院)</td> <td data-bbox="542 1512 1412 1590"> <ul style="list-style-type: none"> ・研究指導並びに第2年次の学生については修士論文等の審査を実施 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="399 1590 542 1926">単位認定 試験</td> <td data-bbox="542 1590 1412 1926"> <ul style="list-style-type: none"> ・教養学部 (第1学期) 平成20年7月27日～8月3日 (第2学期) 平成21年1月25日～2月1日 〔集中科目履修生 「司書教諭資格取得に資する科目」 平成20年10月20日 単位認定レポート提出期限 「看護師資格取得に資する科目」 平成20年 9月26日，27日 <ul style="list-style-type: none"> ・大学院文化科学研究科 (第1学期) 平成20年7月25日～26日 (第2学期) 平成21年1月23日～24日 </td> </tr> </table>	放送授業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年4月1日～4月28日 } 15週間 平成20年5月6日～7月21日 } ・平成20年10月1日～12月28日 } 15週間 平成21年1月5日～1月20日 } ・第1学期については，学部282科目，大学院68科目を放送 ・第2学期については，学部288科目，大学院69科目を放送 〔平成20年4月29日～5月5日及び平成20年12月29日～21年1月4日を「ゆとりの期間」として，また，平成20年7月22日～9月30日及び平成21年1月21日～3月31日を「集中放送授業期間」として，特別講義を放送するほか，授業番組の一部を再放送 ・なお，夏季集中放送授業期間，ゆとりの期間（年末・年始）には，「司書教諭資格取得に資する科目」（5科目），「看護師資格取得に資する科目」（5科目）も放送 	面接授業	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター等で直接教員（客員・非常勤教員を含む。）が指導を実施（スクーリング） ・面接授業の種類 <ul style="list-style-type: none"> ①毎週型 週1回2時間15分の授業を毎週火～金の同曜日・同時限に5回（5週）実施 (5月～6月，11月～12月) ②土日型 連続する土曜・日曜に1回2時間15分の授業を5回実施 (4月～7月，10月～1月) ③集中型 連続する2～3日間に1回2時間15分の授業を5回実施 (8月，2月) 	通信指導	<p>通信指導提出期限</p> <p>(第1学期) 平成20年 6月6日</p> <p>(第2学期) 平成20年12月2日</p> <p>〔(集中科目履修生) 平成20年8月15日 〕</p>	研究指導 (大学院)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導並びに第2年次の学生については修士論文等の審査を実施 	単位認定 試験	<ul style="list-style-type: none"> ・教養学部 (第1学期) 平成20年7月27日～8月3日 (第2学期) 平成21年1月25日～2月1日 〔集中科目履修生 「司書教諭資格取得に資する科目」 平成20年10月20日 単位認定レポート提出期限 「看護師資格取得に資する科目」 平成20年 9月26日，27日 <ul style="list-style-type: none"> ・大学院文化科学研究科 (第1学期) 平成20年7月25日～26日 (第2学期) 平成21年1月23日～24日
放送授業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年4月1日～4月28日 } 15週間 平成20年5月6日～7月21日 } ・平成20年10月1日～12月28日 } 15週間 平成21年1月5日～1月20日 } ・第1学期については，学部282科目，大学院68科目を放送 ・第2学期については，学部288科目，大学院69科目を放送 〔平成20年4月29日～5月5日及び平成20年12月29日～21年1月4日を「ゆとりの期間」として，また，平成20年7月22日～9月30日及び平成21年1月21日～3月31日を「集中放送授業期間」として，特別講義を放送するほか，授業番組の一部を再放送 ・なお，夏季集中放送授業期間，ゆとりの期間（年末・年始）には，「司書教諭資格取得に資する科目」（5科目），「看護師資格取得に資する科目」（5科目）も放送 										
面接授業	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター等で直接教員（客員・非常勤教員を含む。）が指導を実施（スクーリング） ・面接授業の種類 <ul style="list-style-type: none"> ①毎週型 週1回2時間15分の授業を毎週火～金の同曜日・同時限に5回（5週）実施 (5月～6月，11月～12月) ②土日型 連続する土曜・日曜に1回2時間15分の授業を5回実施 (4月～7月，10月～1月) ③集中型 連続する2～3日間に1回2時間15分の授業を5回実施 (8月，2月) 										
通信指導	<p>通信指導提出期限</p> <p>(第1学期) 平成20年 6月6日</p> <p>(第2学期) 平成20年12月2日</p> <p>〔(集中科目履修生) 平成20年8月15日 〕</p>										
研究指導 (大学院)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導並びに第2年次の学生については修士論文等の審査を実施 										
単位認定 試験	<ul style="list-style-type: none"> ・教養学部 (第1学期) 平成20年7月27日～8月3日 (第2学期) 平成21年1月25日～2月1日 〔集中科目履修生 「司書教諭資格取得に資する科目」 平成20年10月20日 単位認定レポート提出期限 「看護師資格取得に資する科目」 平成20年 9月26日，27日 <ul style="list-style-type: none"> ・大学院文化科学研究科 (第1学期) 平成20年7月25日～26日 (第2学期) 平成21年1月23日～24日 										

区 分	業 務 別 計 画
	<p>② 各種資格の取得に資する教育を実施する。 専修免許状，特別支援学校の教諭免許状，栄養教諭免許状，看護師資格など</p> <p>③ 特定の科目群を履修し単位取得した学生に認証状を発行・授与する科目群履修認証制度の認証科目群を拡充する。</p> <p>④ 他大学等との単位互換を推進する。</p> <p>⑤ 教員免許更新講習に関する準備を行う。</p> <p>⑥ 海外の遠隔高等教育機関との国際交流を推進する。</p> <p>(3) 教材の作成</p> <p>① 新たに開設する授業科目の放送教材及び印刷教材を作成するとともに，特別講義を制作する。 なお，放送教材については，原則，地上デジタルテレビジョン放送に対応したハイビジョン番組として制作する。</p> <p>② 特別講義の一部の番組について，番組に連動したデータ放送用コンテンツを制作する。</p> <p>③ 聴覚障害者等による受講の便宜を図るため，字幕番組を制作する。</p> <p>④ 放送教材の二次利用等の円滑化に資するため，教材作成段階において著作権処理について十分配慮するとともに，著作権処理データベースを運用し，著作権処理業務の効率化を図る。</p> <p>⑤ 放送教材の作成に係る効率的な執行・制作に努める。</p> <p>(4) 学習センターの運営 全国各地の学習者の身近な場所において面接による授業等を行うため，学習センターの運営を行う。また，面接授業受講機会の充実及び講義室の有効活用等に努める。</p> <p>① 面接授業の実施等</p> <p>② 単位認定試験の実施</p> <p>③ ビデオ・オーディオテープ・DVD・CDによる再視聴学習機会の提供</p> <p>④ 学習支援 再視聴の受付，図書の貸出，学習相談，証明書の発行等</p> <p>⑤ 当該地域の広報活動・学生募集活動</p>

区 分	業 務 別 計 画							
2 放送大学における教育に必要な放送等の実施に関する事項	<p>(5) 施設設備の整備</p> <p>① 群馬学習センター、千葉学習センター及び附属図書館の特別修繕を行う。</p> <p>② キャンパス・ネットワークシステムに大学院研究指導支援システムを取り込み合理化を図る。また、ウェブカメラ会議システムの機能を拡大し、学習支援の充実を図る。</p> <p>③ 教育研究に必要な機械・器具の整備及び図書・学術雑誌の充実を図る。</p> <p>④ 本部、千葉学習センター及び神奈川学習センターの外壁等の耐震改修を行う。</p> <p>(6) 授業評価の実施</p> <p>授業内容の質的な充実を図るため、引き続き学生等による授業評価を実施する。また、学部・大学院の教育方法改善を図るため、FD (Faculty Development) を実施する。</p> <p>(1) 放送等の実施</p> <p>東京放送局、前橋放送局等のテレビ (UHF) 及びラジオ (FM) とともに、衛星放送 (CS 放送) のテレビ及びラジオにより、次のように授業番組等を放送する。</p> <p>また、地上デジタルテレビジョン放送においては、ハイビジョン放送、多チャンネル放送及びデータ放送を実施する。</p> <p>① 番組編成期間及び放送時間</p> <p>・地上アナログテレビ及びラジオ、衛星放送 (CS 放送) テレビ及びラジオ、地上デジタルテレビ第1チャンネル</p>							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="399 1238 730 1279">番組編成期間</th> <th data-bbox="730 1238 1385 1279">放送時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="399 1279 730 1476"> 放送授業期間 [平成20年 4月1日～4月28日 平成20年 5月6日～7月21日 平成20年10月1日～12月28日 平成21年 1月5日～1月20日] </td> <td data-bbox="730 1279 1385 1476"> 日曜及び月曜 午前6時から翌午前0時15分まで 火曜 午前6時から翌午前2時まで 水曜から土曜 午前5時15分から翌午前2時まで </td> </tr> <tr> <td data-bbox="399 1476 730 1641"> ゆとりの期間 [平成20年4月29日～5月5日 平成20年12月29日 ～平成21年1月4日] </td> <td data-bbox="730 1476 1385 1641"> 日曜及び月曜 午前6時から翌午前0時15分まで 火曜から土曜 午前6時から翌午前0時まで </td> </tr> <tr> <td data-bbox="399 1641 730 1798"> 集中放送授業期間 [平成20年7月22日～9月30日 平成21年1月21日～3月31日] </td> <td data-bbox="730 1641 1385 1798"></td> </tr> </tbody> </table>	番組編成期間	放送時間	放送授業期間 [平成20年 4月1日～4月28日 平成20年 5月6日～7月21日 平成20年10月1日～12月28日 平成21年 1月5日～1月20日]	日曜及び月曜 午前6時から翌午前0時15分まで 火曜 午前6時から翌午前2時まで 水曜から土曜 午前5時15分から翌午前2時まで	ゆとりの期間 [平成20年4月29日～5月5日 平成20年12月29日 ～平成21年1月4日]	日曜及び月曜 午前6時から翌午前0時15分まで 火曜から土曜 午前6時から翌午前0時まで	集中放送授業期間 [平成20年7月22日～9月30日 平成21年1月21日～3月31日]
番組編成期間	放送時間							
放送授業期間 [平成20年 4月1日～4月28日 平成20年 5月6日～7月21日 平成20年10月1日～12月28日 平成21年 1月5日～1月20日]	日曜及び月曜 午前6時から翌午前0時15分まで 火曜 午前6時から翌午前2時まで 水曜から土曜 午前5時15分から翌午前2時まで							
ゆとりの期間 [平成20年4月29日～5月5日 平成20年12月29日 ～平成21年1月4日]	日曜及び月曜 午前6時から翌午前0時15分まで 火曜から土曜 午前6時から翌午前0時まで							
集中放送授業期間 [平成20年7月22日～9月30日 平成21年1月21日～3月31日]								

区 分	業 務 別 計 画															
3 前2号に掲げる業務に附帯する業務に関する事項	<p style="text-align: center;">・地上デジタルテレビ第2チャンネル及び第3チャンネル</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">番組編成期間及び放送時間</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">毎日</td> <td style="text-align: center;">午後1時から午後2時30分まで 及び 午後8時45分から午後11時まで</td> </tr> </table>	番組編成期間及び放送時間		毎日	午後1時から午後2時30分まで 及び 午後8時45分から午後11時まで											
	番組編成期間及び放送時間															
	毎日	午後1時から午後2時30分まで 及び 午後8時45分から午後11時まで														
	② 番組の種類															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">番組名</th> <th>番組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">授 業 番 組</td> <td>授業番組</td> <td>放送大学が放送教材として使用する番組</td> </tr> <tr> <td>特別講義</td> <td>各学問分野等の第一人者が、それぞれの専門について、自由にあるいはさらに深く掘り下げて講義する番組</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">告 知 番 組</td> <td>科目選択ガイド</td> <td>学部及び研究科の内容、科目選択の方法等を紹介する番組</td> </tr> <tr> <td>大学の窓</td> <td>大学からの各種お知らせや学習に役立つ情報を提供する番組</td> </tr> <tr> <td>特別番組</td> <td>学習を進める上で参考になる話題、行事等をさまざまな形で放送する番組</td> </tr> </tbody> </table>		番組名	番組内容	授 業 番 組	授業番組	放送大学が放送教材として使用する番組	特別講義	各学問分野等の第一人者が、それぞれの専門について、自由にあるいはさらに深く掘り下げて講義する番組	告 知 番 組	科目選択ガイド	学部及び研究科の内容、科目選択の方法等を紹介する番組	大学の窓	大学からの各種お知らせや学習に役立つ情報を提供する番組	特別番組	学習を進める上で参考になる話題、行事等をさまざまな形で放送する番組
		番組名	番組内容													
	授 業 番 組	授業番組	放送大学が放送教材として使用する番組													
		特別講義	各学問分野等の第一人者が、それぞれの専門について、自由にあるいはさらに深く掘り下げて講義する番組													
	告 知 番 組	科目選択ガイド	学部及び研究科の内容、科目選択の方法等を紹介する番組													
		大学の窓	大学からの各種お知らせや学習に役立つ情報を提供する番組													
特別番組		学習を進める上で参考になる話題、行事等をさまざまな形で放送する番組														
<p>(2) 放送設備の整備</p> <p>放送局の安定した運行のための、放送関連施設及び機器等の保全・管理等を行うとともに、幕張演奏所番組送出装置及びCS放送用端局設備の特別修繕を行う。また、花見川中継所・東京送信所間の電波伝搬障害を回避するため東京送信所の受信アンテナの移設を行う。</p>																
<p>(3) BS放送設備の調査設計</p> <p>BS放送の技術動向を踏まえ学園に適したBS放送システムの調査設計を実施する。</p>																
<p>(1) 広報活動の実施</p> <p>放送大学の周知を図るとともに、学生募集活動に資するため、広報資料の作成、新聞広告等の広報活動を行う。</p> <p>また、学生確保戦略を策定し、学生の学習支援・サービス改革を進めると共に、一般学生及び集団での学生確保を図る。</p>																
<p>① 放送大学の周知に係る広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実 ・新聞、テレビ、雑誌、インターネット等のメディアを活用した広報の実施 ・体験入学（各学習センター）の実施 ・生涯学習フェスティバル等各種イベントへの参加 ・公開講演会（各学習センター）の実施 ・展示会（公共図書館等）の実施 																

区 分	業 務 別 計 画
4 その他学園の行う業務に関する事項	<p>② 平成20年度第2学期及び平成21年度第1学期学生募集に係る広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集ポスター，学生募集リーフレット，その他広報資料の作成 ・新聞，テレビ，雑誌，インターネット等のメディアを活用した学生募集広告の実施 ・生涯学習センター等公共機関への資料配付協力要請 ・関係府省庁の刊行物，各自治体広報誌の活用 <p>(2) 調査研究の実施</p> <p>① 視聴状況調査</p> <p>放送番組の編成に対する視聴者ニーズや一般的な視聴・受信状況の把握に資する調査を実施し，その結果の活用を図る。</p> <p>② 総合的なメディア活用の在り方に関する調査研究</p> <p>データ放送による双方向サービス実現のための検討結果を踏まえて，実験用コンテンツの開発・制作，実験用データ放送画面の制作を行う。</p> <p>(3) 事務電算システムの運用等</p> <p>① 各種業務システム等の運用・管理</p> <p>人事・給与システム，財務・会計システム，教務情報システム，図書システム，大学院研究指導支援システム，事務連絡用システム，電子会議システム，文書管理システム等の運用・管理を行う。</p> <p>② 教務情報システムの見直し・改善</p> <p>本学の教育改革への対応及び教務処理のより一層の弾力化，迅速化等を図るため，新しい教務情報システムの詳細設計を基に，プログラム開発及び新システムへの移行等を実施する。</p> <p>(4) インターネット配信</p> <p>学生の利便性の向上等に資するため，放送等による授業の補完として，平成19年度及び20年度開設のラジオ授業科目等のうち可能なものについてインターネット配信を実施する。</p> <p>(5) 特別修繕準備金</p> <p>特別修繕準備金から434,057,000円を取り崩して特別修繕費に充てる。</p> <p>(1) 学生等の受信環境の向上のため，ケーブルテレビ事業者による再送信の拡充に努める。</p> <p>(2) 広報・学生募集活動の改善案，番組制作のあり方，学習センターのあり方等については，第三者による経営評価の結果を踏まえ，見直しを行う。</p>

添 付 書 類

1. 平成 20 会計年度予定貸借対照表<変更後>
2. 平成 20 会計年度予定損益計算書<変更後>
3. 平成 19 会計年度予定貸借対照表
4. 平成 19 会計年度予定損益計算書
5. 平成 19 会計年度業務報告書
6. 他の団体等に対して出資を行う場合における当該団体等の名称等 (該当なし)
7. 平成 20 会計年度収入支出予算<変更後>

1. 平成20会計年度予定貸借対照表 <変更後>

(平成21年3月31日)

資 産 の 部

(単位：千円)

I 固 定 資 産

1 有 形 固 定 資 産

土 地		3,469,887
建 物	13,890,702	
減価償却累計額	△ 2,751,685	11,139,016
構 築 物	611,544	
減価償却累計額	△ 204,748	406,795
機 械 及 び 装 置	6,176,426	
減価償却累計額	△ 2,520,025	3,656,401
工 具、器 具 及 び 備 品	1,657,784	
減価償却累計額	△ 1,131,378	526,405
図 書		5,185,041
車 両 運 搬 具	21,538	
減価償却累計額	△ 14,422	7,115
建 設 仮 勘 定		1,057,134
有形固定資産合計		25,447,797

2 無 形 固 定 資 産

電 話 加 入 権		3,705
電信電話専用施設利用権		28
水道施設利用権		1,128
ソフトウェア		220,023
無形固定資産合計		224,886

3 投 資 そ の 他 の 資 産

長 期 性 預 金		55,367
投 資 有 価 証 券		2,101,990
敷 金 及 び 保 証 金		357,233
投資その他の資産合計		2,514,591

固 定 資 産 合 計

28,187,274

II 流 動 資 産

現 金 及 び 預 金		4,423,056
未 収 入 金		36,155
有 価 証 券		668,740
た な 卸 資 産		4,658,192
前 払 費 用		686
未 収 収 益		3,758

流 動 資 産 合 計

9,790,589

資 産 合 計

37,977,864

負債の部

I 固定負債

資産見返補助金等	6,297,420	
資産見返負担金	1,124	
資産見返給付金	6,524	
資産見返寄附金	133,111	
預り補助金等	1,057,134	
退職給付引当金	314,166	
学生数等減少準備引当金	691,006	
	<hr/>	
固定負債合計		8,500,488

II 流動負債

資産見返補助金等	4,625,693	
資産見返寄附金	32,498	
前受金	2,874,562	
預り寄附金	48,376	
預り金	30,494	
未払金	584,773	
未払費用	798,638	
未払消費税等	1,632	
賞与引当金	272,726	
	<hr/>	
流動負債合計		9,269,396
		<hr/>
負債合計		17,769,884
		<hr/>

拠出の部

I 拠出金

政府拠出金		15,894,965
-------	--	------------

II 拠出剰余金

拠出剰余金	7,890,102	
損益外減価償却累計額	△ 5,454,274	
特別修繕準備金	1,371,182	
放送大学教育振興基金	504,896	
	<hr/>	
拠出剰余金合計		4,311,906

III 利益剰余金

当期末処分利益	1,107	
(うち当期総利益)	(0)	
	<hr/>	
利益剰余金合計		1,107
		<hr/>
拠出合計		20,207,979
		<hr/>
負債拠出合計		37,977,864
		<hr/>

2. 平成 20 会計年度予定損益計算書 <変更後>

(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位：千円)

I 経常収益

授業料収益		5,590,539	
入学金収益		467,423	
検定料収益		42,180	
運営費補助金等収益		4,868,145	
寄附金収益		25,885	
資産見返補助金等戻入		2,455,310	
資産見返負担金戻入		167	
資産見返給付金戻入		2,214	
資産見返寄附金戻入		13,586	
財務収益			
受取利息	6,083		
有価証券利息	23,547	29,630	
雑益		62,984	
経常収益合計			13,558,067

II 経常費用

業務費		12,675,887	
一般管理費		882,179	
経常費用合計			13,558,067
経常利益			0

III 臨時利益

資産見返補助金等戻入		9,148	
資産見返寄附金戻入		2,000	
臨時利益合計			11,148

IV 臨時損失

固定資産除却損		11,148	
臨時損失合計			11,148

当期純利益 0

当期総利益 0

3. 平成19会計年度予定貸借対照表

(平成20年3月31日)

資産の部

(単位：千円)

I 固定資産

1 有形固定資産

土地		3,469,887
建物	13,309,162	
減価償却累計額	△ 2,268,740	11,040,422
構築物	606,232	
減価償却累計額	△ 173,304	432,927
機械及び装置	5,931,474	
減価償却累計額	△ 1,741,306	4,190,167
工具、器具及び備品	1,572,115	
減価償却累計額	△ 1,014,568	557,547
図書		5,129,504
車両運搬具	21,538	
減価償却累計額	△ 12,158	9,379
建設仮勘定		543,060
有形固定資産合計		25,372,896

2 無形固定資産

電話加入権		3,705
電信電話専用施設利用権		832
水道施設利用権		1,299
ソフトウェア		243,834
無形固定資産合計		249,671

3 投資その他の資産

長期性預金		5,413
投資有価証券		2,578,076
敷金及び保証金		357,233
投資その他の資産合計		2,940,723

固定資産合計

28,563,291

II 流動資産

現金及び預金		4,704,178
未収入金		36,155
有価証券		439,685
たな卸資産		4,642,376
前払費用		652
未収収益		3,758

流動資産合計

9,826,808

資産合計

38,390,100

負債の部

I 固定負債

資産見返補助金等	6,253,792	
資産見返負担金	1,292	
資産見返給付金	8,739	
資産見返寄附金	127,710	
預り補助金等	543,060	
退職給付引当金	349,800	
学生数等減少準備引当金	691,006	
固定負債合計		7,975,401

II 流動負債

資産見返補助金等	4,608,253	
資産見返寄附金	34,123	
前受金	2,874,528	
預り寄附金	48,376	
預り金	30,494	
未払金	589,116	
未払費用	798,638	
未払消費税等	1,632	
賞与引当金	276,992	
流動負債合計		9,262,156
負債合計		17,237,558

拠出の部

I 拠出金

政府拠出金		15,894,965
-------	--	------------

II 拠出剰余金

拠出剰余金	7,141,698	
損益外減価償却累計額	△ 4,195,265	
特別修繕準備金	1,805,239	
放送大学教育振興基金	504,796	
拠出剰余金合計		5,256,468

III 利益剰余金

当期末処分利益	1,107	
(うち当期総利益)	(00)	
利益剰余金合計		1,107
拠出合計		21,152,541
負債拠出合計		38,390,100

4. 平成 19 会計年度 予定損益計算書

(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

(単位：千円)

I 経常収益

授業料収益	5,910,849	
入学金収益	508,924	
検定料収益	60,000	
運営費補助金等収益	4,848,694	
受託研究収益	5,000	
寄附金収益	21,084	
資産見返補助金等戻入	2,400,548	
資産見返負担金戻入	167	
資産見返給付金戻入	2,214	
資産見返寄附金戻入	13,721	
財務収益		
受取利息	6,030	
有価証券利息	28,802	
雑益	<u>81,745</u>	
経常収益合計		13,887,782

II 経常費用

業務費	13,054,268	
一般管理費	908,513	
経常費用合計		<u>13,962,782</u>
経常利益		△ 75,000

III 臨時利益

資産見返補助金等戻入	8,242	
資産見返寄附金戻入	2,000	
臨時利益合計	<u>10,242</u>	10,242

IV 臨時損失

固定資産除却損	10,242	
臨時損失合計	<u>10,242</u>	10,242

当期純利益 △ 75,000

特別修繕準備金取崩額 75,000

当期総利益 0

平成 19 会計年度

5. 業 務 報 告 書

放 送 大 学 学 園

I 放送大学学園の概要

- 事業内容
- 1 放送大学を設置し、これを運営すること
 - 2 放送大学の教育に必要な放送等を行うこと
 - 3 その他必要な業務を行うこと

事務所の所在地 千葉県千葉市美浜区若葉2丁目11番地

役員の数等

定数：理事6人以上8人以内（うち常勤5人、非常勤3人以内）、監事2人（うち非常勤1人）

氏名	役職	任期	経歴
御手洗 康	理事長	平成19年10月1日～ 平成21年9月30日	昭和44年7月 文部省入省 平成15年1月 文部科学事務次官 平成17年10月 放送大学学園理事長
石 弘 光	理事（学長）	平成19年5月1日～ 平成23年4月30日	昭和52年10月 一橋大学教授 平成10年12月 一橋大学長 平成19年5月 放送大学学長
梶野 慎一	理事	平成19年10月1日～ 平成21年9月30日	昭和48年4月 文部省入省 平成15年8月 国家公務員共済組合連合会 常務理事 平成18年1月 放送大学学園理事
二宮 洋二	理事	平成19年10月1日～ 平成21年9月30日	昭和50年4月 大蔵省入省 平成15年7月 国土交通省大臣官房審議官 平成17年6月 放送大学学園理事
松井 房樹	理事	平成19年10月1日～ 平成21年9月30日	昭和51年4月 郵政省入省 平成18年4月 内閣官房内閣審議官 平成19年9月 放送大学学園理事
後藤 祥子	理事（非常勤）	平成19年10月1日～ 平成21年9月30日	昭和61年4月 日本女子大学教授 平成13年4月 学校法人日本女子大学理事長・ 日本女子大学学長 平成13年7月 放送大学学園理事（非常勤）
梶山 千里	理事（非常勤）	平成19年10月1日～ 平成21年9月30日	昭和59年11月 九州大学教授 平成13年11月 九州大学総長 平成16年6月 放送大学学園理事（非常勤）
山村 裕義	理事（非常勤）	平成19年10月1日～ 平成21年9月30日	平成11年4月 日本放送協会理事 平成15年6月 株式会社NHK文化センター 代表取締役社長 平成19年10月 放送大学学園理事（非常勤）
杉浦 哲郎	監事	平成19年10月16日～ 平成21年10月15日	昭和49年4月 文部省入省 平成15年4月 米子工業高等専門学校長 平成17年10月 放送大学学園監事
西垣 昭	監事（非常勤）	平成19年10月1日～ 平成21年9月30日	昭和63年6月 大蔵事務次官 平成2年5月 海外経済協力基金総裁 平成10年7月 放送大学学園監事（非常勤）

教員及び職員の数 教員： 89人
職員： 253人

沿革 昭和56年 7月 放送大学学園設立
昭和58年 4月 放送大学設置
昭和59年10月 東京放送局免許
昭和59年12月 前橋放送局免許
昭和60年 4月 関東地方の一部において、テレビ（地上アナログ放送）・ラジオによる授業放送を開始するとともに学生を受入れ
平成 2年10月 関東地方以外において、順次ビデオ・オーディオテープを利用した授業等を行うとともに学生を受入れ
平成10年 1月 衛星（CS）放送による授業番組等の全国放送の開始
平成10年10月 全国の学習センターで全科履修生を受入れ開始
平成13年 4月 放送大学大学院設置
平成14年 4月 放送大学大学院学生受入れ
平成15年10月 特殊法人から特別な学校法人へ移行
平成18年12月 地上デジタル放送開始（放送エリアは地上アナログ放送と同様）

設立に係る根拠法 放送大学学園法（平成14年12月13日法律第156号）

主管省庁名 文部科学省、総務省

審議等機関 名称 評議員会
業務内容 ・ 理事長の諮問に応じ、放送大学学園の業務の運営に関する重要事項について審議する。
・ 放送大学学園の業務の運営につき、理事長に対して意見を述べる。
構成員 【定数：20～27人 現員：27人】
(平成20年3月1日現在)

氏名	職名等
赤田英博	社団法人日本PTA全国協議会会長
安西祐一郎	慶應義塾長
飯野正子	津田塾大学長
池原充洋	放送大学学園事務局長
石弘光	放送大学長
井上孝美	財団法人放送大学教育振興会理事長
岩崎洋一	国立大学法人筑波大学長
大橋英寿	放送大学宮城学習センター所長
岡部洋一	放送大学副学長
荻野博	放送大学副学長
梶山千里	国立大学法人九州大学総長
小舘静枝	小田原女子短期大学学長
郷通子	国立大学法人お茶の水女子大学学長
後藤祥子	学校法人日本女子大学理事長・日本女子大学学長
佐藤健太郎	千葉県教育委員会教育長
清水康敬	独立行政法人メディア教育開発センター理事長
鈴木正人	社団法人日本経済団体連合会常務理事
玉川寿夫	社団法人日本民間放送連盟専務理事
鳥居元吉	社団法人日本新聞協会理事・事務局長
南雲光男	日本サービス・流通労働組合連合顧問
原田豊彦	前日本放送協会専務理事・放送総局長
広瀬道貞	社団法人日本民間放送連盟会長
御手洗康	放送大学学園理事長
茂木友三郎	キッコーマン株式会社代表取締役会長CEO
齋昭男	財団法人テレコムエンジニアリングセンター理事長
山村裕義	株式会社NHK文化センター経営主幹
和田九三	放送大学同窓会連合会会長

II 事業の実施状況

1 放送大学を設置し、これを運営することに関する事項

(1) 学生の募集等

下記のとおり、平成19年度第2学期学生募集を行った。

(単位：人)

区 分		入学定員	募 集 期 間 等
教養学部	第2学期 全科履修生	15,000	6月15日～8月31日
	第2学期 選科履修生 科目履修生	40,000	
大学院 文化科学研究科	第2学期 修士選科生 修士科目生	11,000	6月15日～8月31日

下記のとおり、平成20年度第1学期学生募集を行った。

(単位：人)

区 分		入学定員	募 集 期 間 等
教養学部	第1学期 全科履修生	15,000	12月15日～2月29日
	第1学期 選科履修生 科目履修生	40,000	
大学院 文化科学研究科	修士全科生	500	(8/25～9/14募集) 10/9 第1次合格者の決定(書類審査) 10/28 第2次選考 (小論文) 11/17, 18 " (面接試問) 12/12 最終合格者決定
	第1学期 修士選科生 修士科目生	11,000	12月15日～2月29日

このほか平成19年度集中科目履修生の募集を5月1日～31日の間行った。

(入学者数推移)

[学 部]

(単位：人)

年 度	15年度		16年度		17年度		18年度		19年度	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
全科履修生	6,488	3,989	7,694	3,909	7,535	3,570	6,689	3,311	7,092	3,248
選科履修生	11,601	5,580	12,240	5,425	13,369	5,483	12,319	5,191	12,623	5,505
科目履修生	10,900	11,074	9,474	10,116	8,306	9,496	7,744	8,797	6,249	7,916
特別聴講学生	1,065	3,723	1,067	3,424	1,513	4,011	2,002	4,182	1,793	4,054

[大学院]

(単位：人)

年 度	15年度		16年度		17年度		18年度		19年度	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
修士全科生	498		530		524		502		472	
修士選科生	—	—	—	—	3,949	824	3,643	902	3,148	864
修士科目生	11,428	10,108	6,557	5,870	2,108	1,768	1,194	1,208	827	941
特別聴講学生	4	3	1	1	0	0	0	1	0	1

(2) 学生の教育等

- ① 平成19年度第1学期の在学者(学部80,799人、大学院6,245人)及び平成19年度第2学期の在学者(学部83,126人、大学院6,296人)に対して放送授業、面接授業、通信指導、研究指導、単位認定試験等を下記のとおり実施した。

<p>放送授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年 4月1日～ 4月28日 平成19年 5月6日～ 7月21日 <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">} 15週間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年10月1日～12月28日 平成20年 1月5日～ 1月20日 <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">} 15週間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学期については、学部284科目、大学院67科目を放送 ・第2学期については、学部286科目、大学院67科目を放送 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>なお、平成19年4月29日～5月5日及び平成19年12月29日～20年1月4日を「ゆとりの期間」として、また、平成19年7月22日～9月30日及び平成20年1月21日～3月31日を「集中放送授業期間」として特別講義を放送するほか、授業番組の一部を再放送 夏季集中放送授業期間、ゆとりの期間(年末・年始)には、「司書教諭資格取得に資する科目」(5科目)、「看護師資格取得に資する科目」(5科目)を放送</p> </div>
<p>面接授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター等で直接教員(客員・非常勤教員を含む)が指導を実施(スクーリング) ・面接授業の種類 <ul style="list-style-type: none"> ①毎週型 週1回2時間15分の授業を毎週火～金の同曜日・同時限に5回(5週)実施 (5月～6月、11月～12月) ②土日型 連続する土曜・日曜に1回2時間15分の授業を5回実施 (4月～7月、10月～1月) ③集中型 連続する2～3日間に1回2時間15分の授業を5回実施 (8月、2月) ・延べ2,458科目(3,186クラス)の面接授業を実施
<p>通信指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放送授業科目について、学期の途中に1回、一定範囲の問題を出題し、その添削を実施(通信指導の評価の結果によって単位認定試験の受験資格が与えられる) ・通信指導提出期限：平成19年 6月8日(第1学期) 平成19年12月3日(第2学期) 〔平成19年8月15日(集中科目履修生)〕
<p>研究指導 (大学院)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導を行い、第2年次の学生は修士論文等の審査を実施
<p>単位認定試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教養学部 <ul style="list-style-type: none"> 平成19年7月29日～8月5日(第1学期) 平成20年1月27日～2月3日(第2学期) ・集中科目履修生 <ul style="list-style-type: none"> 「司書教諭資格取得に資する科目」 平成19年10月19日 単位認定レポート提出期限 「看護師資格取得に資する科目」 平成19年 9月28日、29日 ・大学院文化科学研究科 <ul style="list-style-type: none"> 平成19年7月27日～28日(第1学期) 平成20年1月25日～26日(第2学期)

また、学部において5,108人の卒業認定、大学院修士課程において389人の修了認定を行った。

(学部卒業生数推移)

17年度	18年度	19年度			19年度末累計
		第1学期	第2学期	計	
5,485人	5,305人	2,030人	3,079人	5,109人	51,015人

(大学院修了生数)

17年度	18年度	19年度			19年度末累計
		第1学期	第2学期	計	
436人	453人	10人	379人	389人	1,989人

- ② 専修免許状、特別支援学校の教諭免許状、栄養教諭免許状、看護師資格取得など各種資格の取得に資する教育を実施した。
- ③ 特定の科目群を履修し単位取得した学生に、認証状を発行・授与する科目群履修認証制度の認証プラン数を10プランから16プランに拡充した。
- ④ 他大学等との単位互換を下記のとおり締結している。
〔学部〕平成19年度末までに324校
〔大学院〕平成19年度末までに4校
- ⑤ AAOU（アジア公開大学連合）及びICDE（国際遠隔教育評議会）に参加し、世界各国の遠隔教育の最新情報を得るとともに、海外の遠隔高等教育機関と相互交流を図った。

(3) 教材の作成

- ① 平成20年度に新たに開設する授業科目学部72科目、大学院7科目について、放送教材及び印刷教材を作成するとともに、特別講義8番組を制作した。また、授業科目8科目については、ハイビジョン番組を制作した。
- ② 特別講義2番組について、番組に連動したデータ放送用コンテンツを制作した。
- ③ 授業科目11科目等の番組について字幕を付与した。
- ④ 放送教材の二次利用等の円滑化に資するため、教材作成段階において著作権処理について十分配慮するとともに、著作権処理データベースを運用し、著作権処理業務の効率化を図った。
- ⑤ 放送教材の作成経費について、より効率的な執行プロセスを策定、実施した。

(4) 学習センターの運営

- ① 面接授業の実施等
学習センターにおいて、延べ2,458科目(3,186クラス)の面接授業を実施した。
また、学生間の交流や学習意欲を促進するため、サークル活動や教員によるミニ講座等に供するなど講義室の有効活用を図った。
- ② 単位認定試験の実施
各学習センターにおいて下記の日程で単位試験を実施した。
 - ・教養学部 平成19年7月29日～8月5日(第1学期)
平成20年1月27日～2月3日(第2学期)
 - ・集中科目履修生
「司書教諭資格取得に資する科目」平成19年10月19日 単位認定レポート提出期限
「看護師資格取得に資する科目」平成19年9月28日、29日
 - ・大学院文化科学研究科 平成19年7月27日～28日(第1学期)
平成20年1月25日～26日(第2学期)

- ③ ビデオ・オーディオテープ・DVD・CDによる再視聴学習機会の提供
各学習センターに放送教材を配架し、再視聴学習に供した。
- ④ 学生サービス
各学習センターにおいて、図書の出借、学習相談、証明書の発行等の業務を行った。
- ⑤ 当該地域の広報活動・学生募集活動
各学習センターにおいて、広報活動及び学生募集活動を行った。

(5) 施設設備の整備

- ① 群馬学習センターの施設及び附属図書館の空調設備の改修並びに東京送信所の塗装工事の特別修繕を行った。
- ② 学生への学習支援のためのキャンパスネットワークHPのデザインをリニューアルするとともに、サービスアプリケーション等の機能拡張を図った。また、携帯電話用ブラウザでも参照できるページを作成した。
- ③ 教育研究に必要な機械・器具の整備を進めるとともに、図書・学術雑誌の充実を図った。

(6) 授業評価の実施

授業評価システムを構築するため、引き続き、学生等による授業評価を実施した。
また、学部・大学院の教育方法改善を図るため、平成19年度よりFD (Faculty Development) 講演会を実施した。

2 大学における教育に必要な放送等の実施に関する事項

(1) 放送等の実施

東京放送局、前橋放送局のテレビ(UHF)及びラジオ(FM)とともに、また、衛星放送(CS放送)のテレビ及びラジオにより次のように授業番組等を放送した。
また、地上デジタルテレビジョン放送においては、ハイビジョン放送、多チャンネル放送及びデータ放送を実施した。

① 番組編成期間及び放送時間

・地上アナログテレビ及びラジオ、衛星放送(CS放送) テレビ及びラジオ、地上デジタルテレビ第1チャンネル

番組編成期間	放送時間
放送授業期間 平成19年 4月1日～ 4月28日 平成19年 5月6日～ 7月21日 平成19年10月1日～12月28日 平成20年 1月5日～ 1月20日	日曜及び月曜 午前6時から翌午前0時15分まで 火曜 午前6時から翌午前2時まで 水曜から土曜 午前5時15分から翌午前2時まで
ゆとりの期間 平成19年 4月29日～5月 5日 平成19年12月29日～20年1月4日	日曜及び月曜 午前6時から翌午前0時15分まで
集中放送授業期間 平成19年 7月22日～9月30日 平成20年 1月21日～3月31日	火曜から土曜 午前6時から翌午前0時まで

・地上デジタルテレビ第2チャンネル及び第3チャンネル

番組編成期間及び放送時間	
毎日	午後1時から午後2時30分まで
	及び 午後9時30分から午後11時45分まで

② 番組の種類

番組名	番組内容	
授業番組	授業番組	放送大学が放送教材として使用する番組
	特別講義	各学問分野等の第一人者が、それぞれの専門について、自由にあるいはさらに深く掘り下げて講義する番組
告知番組	科目選択ガイド	学部及び専攻の内容、科目選択の方法などを紹介する番組
	大学の窓	大学からの各種お知らせや学習に役立つ情報を提供する番組
	特別番組	学習を進める上で参考になる話題、行事などをさまざまな形で放送する番組

(2) 放送設備の整備

安定した放送を確保するため、幕張演奏所の番組送出・整備や送信所（東京、前橋）及び中継所（花見川、菖蒲、桐生）の送信装置、アンテナ等の管理・保全を実施した。

(3) 放送事故

- ① 平成19年4月24日（火）、幕張演奏所のTS切替器の障害による地上デジタルTV放送（東京、前橋）が17秒間断となった。
- ② 平成19年5月16日（水）、幕張演奏所のダウンコンバーターの入力切替の操作ミスにより、地上アナログTV放送（東京、前橋）及びCS放送（テレビ）が1分50秒間断となった。
- ③ 平成19年7月24日（火）、幕張演奏所の番組伝送用無線送信設備及び東京送信所の受信設備の機器の障害により、地上アナログTV放送（東京、前橋）及びCSテレビ放送が9秒間断となった。

3 前2号に掲げる業務に附帯する業務に関する事項

(1) 広報活動の実施

各種広報資料の作成・配布、公開講演会の開催、新聞・雑誌・テレビを利用した広報を行うとともに、各種イベントに参加した。

また、効果的な広報戦略に資するため、学生確保戦略を策定し、広報活動体制の充実、学園本部と学習センターとの連携協力体制の強化等を行った。

- ① 放送大学の周知に係る広報活動
 - ・ホームページの充実
 - ・体験入学（各学習センター）の実施
 - ・生涯学習フェスティバル等各種イベントへの参加（平成19年11月2日～6日：岡山県）
 - ・公開講演会（各学習センター）の実施（計273回）
 - ・展示会（公共図書館等）の実施（秋田県、大阪府、岐阜県、新潟県、佐賀県）
- ② 学生募集に係る広報活動

- ・ 学生募集ポスター、学生募集リーフレット、その他広報資料の作成
- ・ 新聞、テレビ、雑誌、インターネット等のメディアを活用した学生募集広告の実施
 - 〔 テレビCM 日本テレビ、フジテレビ等
 - 〔 新聞広告 読売、朝日新聞等
- ・ 生涯学習センター等公共機関への資料配付協力要請
- ・ 関係府省庁の刊行物、各自治体広報誌の活用

(2) 調査研究の実施

- ① 放送番組モニター調査
放送番組の編成に対する視聴者ニーズや一般的な視聴・受信状況の把握に資する調査を実施し、その結果の活用を図る。
- ② 総合的なメディア活用の在り方に関する調査研究
学生と教員に対するインターネット等に係るアンケート及び一般国民に対する学園の認知度やBS参入に係る期待度等に係るアンケート等を通して、総合的なメディア活用の在り方についての調査を行った。

(3) 事務電算システムの運用等

- ① 各種業務システム等の運用・管理
 - ・ 人事・給与システム、財務・会計システム、教務情報システム、図書システム、大学院研究指導支援システムの運用・管理を行った。
 - ・ 事務連絡用システム、電子会議システム、文書管理システム、法人文書ファイル管理システム等の運用・管理を行った。
- ② 教務情報システムの見直し・改善
本学の教育改革への対応及び教務処理のより一層の弾力化、迅速化等を図るため、新たな教務情報システムに関する詳細設計、システム基盤設計及びシステム開発を実施した。

(4) インターネット配信

学生の利便性の向上等に資するため、放送等による授業の補完として、平成19年度開設のラジオ授業科目等のうち38科目について、インターネット配信を実施した。

(5) 特別修繕準備金

特別修繕準備金を取り崩して特別修繕費に充てた。

4 その他学園の行う業務に関する事項

- ・ 学生等の受信環境の向上を図るため、ケーブルテレビ事業者による再送信の拡充を行った。
- ・ 第三者による経営評価において、広報・学生募集活動の改善案、番組制作のあり方、学習センターのあり方、学生数の変動要因の分析と将来推計を実施した。

6. 他の団体等に対して出資を行う場合における当該団体等の名称等

該当なし

7. 平成 20 会 計 年 度 収 入 支 出 予 算 < 変 更 後 >

(単位:千円)

収 入					支 出						
科 目	平成19年度 予 算 額	平成 20 年 度 予 算 額			対前年度 増△減額	科 目	平成19年度 予 算 額	平成 20 年 度 予 算 額			対前年度 増△減額
		当初予算額	変 更 額	変 更 後 予 算 額				当初予算額	変 更 額	変 更 後 予 算 額	
(款)事業収入 (項)授業料及入学検定料	6,527,137	6,145,534	0	6,145,534	△ 381,603	(項)管理経費	1,063,050	1,020,077	0	1,020,077	△ 42,973
(款)事業外収入 (項)雑収入	160,544	145,394	0	145,394	△ 15,150	(項)教材作成等事業費	3,203,596	3,094,987	0	3,094,987	△ 108,609
(款)特別修繕準備金受入 (項)特別修繕準備金受入	235,000	434,057	0	434,057	199,057	(項)教育研究費	8,242,754	7,954,433	0	7,954,433	△ 288,321
(款)電波伝搬対策費財源収入 (項)電波伝搬対策費財源収入	0	22,000	0	22,000	22,000	(項)放送事業費	1,599,593	1,568,745	0	1,568,745	△ 30,848
(款)補助金収入 (項)国庫補助金	7,888,906	7,862,388	300,000	8,162,388	273,482	(項)教務情報システム開発費	466,594	514,074	0	514,074	47,480
(款)受託収入 (項)受託収入	5,000	0	0	0	△ 5,000	(項)特別修繕費	235,000	434,057	0	434,057	199,057
						(項)施設整備費	0	0	300,000	300,000	300,000
						(項)電波伝搬対策費	0	22,000	0	22,000	22,000
						(項)受託研究費	5,000	0	0	0	△ 5,000
						(項)予備費	1,000	1,000	1,000	1,000	0
合 計	14,816,587	14,609,373	300,000	14,909,373	92,786	合 計	14,816,587	14,609,373	300,000	14,909,373	92,786